

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年06月08日

計画の名称	住民が衛生的で快適に暮らせるための下水道未普及解消の推進（第2期計画）(重点計画)												
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	檜原村												
計画の目標	汚水整備の普及により快適な生活環境を提供するため、効率的・効果的な事業の推進を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	314	A	314	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26当初	H28末	H30末
1	下水道処理人口普及率を89.0%（H26当初）から93.0%（H30末）にする。			
	下水道処理人口普及率 供用開始区域内人口 / 行政区域内人口	89%	89%	93%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	檜原村	直接	檜原村	管渠(汚水)	新設	汚水管布設	汚水管 = 50~150mm L = 7.1 km	檜原村						314	-	
											小計						314		
											合計						314		



事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
檜原村下水道事業社会資本総合整備計画評価委員会設置基準に基づき委員会を設置し、事後評価を行う。	令和2年3月
	公表の方法 檜原村ホームページにおいて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	行政区域内人口が想定より減少しなかったこと及び供用開始区域内人口が想定より増加しなかったため、下水道処理人口普及率はH26現況値89%からH30実績値87.8%へ結果的に減少したが、整備面積は89.8haから99.3haへ増加している。 目標値の算出： $1,953人（供用開始区域内人口） \div 2,100人（行政区域内人口） = 93.0\%$ 実績値の算出： $1,928人（供用開始区域内人口） \div 2,194人（行政区域内人口） = 87.8\%$
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	利き鮎準グランプリを取るなど、河川環境の向上が認められる。
特記事項（今後の方針等）	
汚水整備の普及により快適な生活環境を提供するため、より効率的・効果的な事業の推進により、事業計画である102haの整備を進める。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道処理人口普及率	
	最終目標値	93%
	最終実績値	88%
		行政区域内人口が想定より減少しなかったこと及び供用開始区域内人口が想定より増加しなかったため。